

ご報告

地鎮祭

当院移転予定地にて地鎮祭が行われました

平成23年12月20日(火)、当院移転予定地にて地鎮祭が行われました。当院幹部職員、当グループ幹部、建設関係者、地主の方々など約40名が参列し「鍬入の儀」「玉串奉奠」など、約30分の儀式が行われ、参列者全員での直会(なおり)にて地鎮祭は終了しました。これから約1年かけて工事がすすめられます。このプラザイムスでも、今後工事の様子などお知らせしていきたいと思っております。



IMSグループイムス総合サービスセンターがみなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。

このたび、IMS(イムス)グループを利用されるみなさまの診療相談、人間ドック等で健診を受診された方の二次健診窓口、医療・介護の相談を受けつけるインフォメーションセンターとして、「イムス総合サービスセンター」を設立いたしました。当センターでは、IMSグループがみなさまに提供できる先進医療をご紹介させていただきます。どの病院に受診をしたら良いか、どの診療科に受診をしたら良いか、医療・介護に関わる質問がございましたら、ぜひ、「イムス総合サービスセンター」へご相談ください。

ご利用の流れ

- それぞれの治療を専門とする医療技術のご提供
- 特殊な診療などを実施しているIMS医療機関の紹介
- 医療や福祉に関する情報提供
- 健診受診後の二次健診のご相談
- 老人保健施設等のご紹介
- お近くのIMS医療施設のご紹介

ご利用の流れ

イムス総合サービスセンターへのお問い合わせは、来訪もしくは、お電話かメールにてご連絡ください。

0800-800-1632

※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。

03-3989-1141 (代表)

受付時間/平日8:30~17:30 土曜日8:30~12:30(日祝・年末年始休み)

E-mail: gscenter@ims.gr.jp

専任スタッフおよび医療ソーシャルワーカーと相談

IMSグループ専門医療機関をご紹介、受診までをサポートさせていただきます。

左記以外の医療・介護に関わるご相談も、お気軽にご相談いただければ対応させていただきます。

IMSグループ イムス総合サービスセンター

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F TEL:03-3989-1141 FAX:03-3989-1225

皆さまの声を聞かせてください!

イムス三芳総合病院では、よりよい病院づくりをすすめるため、患者さま・地域の皆さまのご意見を募集しています。ご意見は下記FAX、E-mailまたは院内総合受付横に設置のアンケートBOXまで。皆さまの貴重なご意見をお待ちしております。

FAX: 049-274-7016 E-mail: renkei.mkh@ims.gr.jp

イムス三芳総合病院 広報誌 Plaza ims(プラザイムス)Vol.22 2012.2
発行/イムス三芳総合病院 地域医療連携室
発行日/2012年2月
〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保266-1
医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院
TEL049-258-2323
http://www.ims.gr.jp/miyoshisougou/



イムス三芳総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気になる情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

胆嚢炎・胆石について

公開医療講座

平成23年9月27日(火)、外科部長 大澤俊也医師による公開医療講座「胆嚢炎・胆石について」を開催いたしました。この講座のなかから、今回は胆石症について簡単にまとめ、一部ご紹介させていただきます。

胆嚢

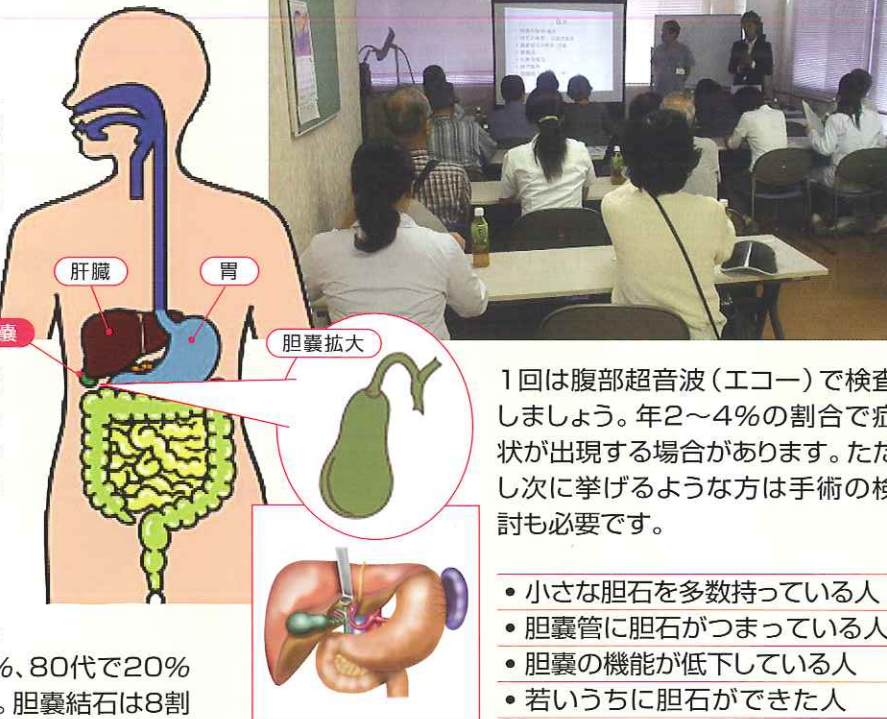
大きさは長さ7~10cm×幅3~4cmくらい、容積50~60ml、洋ナシ型で肝臓の下に張り付いています。場所は右上腹部でお腹と背中の中真中に位置しているため胆石発作や胆嚢炎は背中も痛くなります。

胆嚢の働き

肝臓は「胆汁」を産生しており、胆汁は脂肪の消化吸収を助けます。肝臓で作られた胆汁は胆管を通じて十二指腸へ排出しており、胆嚢はその途中で寄り道の場所。胆汁を濃縮して貯留しています。

胆石症とは

胆道系(胆嚢と胆管)に結石ができてしまった病気で40代で8%、60代で15%、80代で20%の割合で発症、近年増加傾向にあります。胆嚢結石は8割で、胆管結石2割です。胆管結石は胆管結石と落下結石に分かれます。胆石のできやすい人としては・40代・女性・肥満・白人・多産婦・脂肪の代謝異常・妊婦・急激なダイエット・胃切除後・完全静脈栄養・絶食期間の長い人・腸の動きが悪い人などがあげられます。通常は無症状ですが、脂質に富む食事後30分から2時間くらいで腹部膨満感・違和感や軽い吐き気、肩こり、軽度の腹痛を感じることがあります。発作が起こるとみぞおちの激しい痛みで食後や夜間に突発。吐き気やおう吐を伴うこともあります。さらに感染を伴うと胆のう炎や胆管炎となり4~6時間以上続く腹痛、発熱、悪寒などとなります。無症状胆石の場合、経過観察でよいですが放置をせず、年に



1回は腹部超音波(エコー)で検査しましょう。年2~4%の割合で症状が出現する場合があります。ただし次に挙げるような方は手術の検討も必要です。

- 小さな胆石を多数持っている人
- 胆嚢管に胆石がつまっている人
- 胆嚢の機能が低下している人
- 若いうちに胆石ができた人

胆石と胆嚢癌

胆石による胆嚢粘膜への長時間の刺激が胆嚢癌の発生の原因となっている可能性があります。全解剖例で胆のう癌合併率は1.5%に対し、胆嚢結石例では8%という報告があります。しかし胆石を持つ人が実際に胆嚢癌になりやすかったという明確な証拠はありません。進行胆嚢癌は極めて予後が悪いので無症状でも1年に1回の検査を心掛けてください。

今後も当院では公開医療講座を開催していきます。紙面上では一部しかご紹介できませんので、ぜひみなさま講座にご参加いただければと思います。

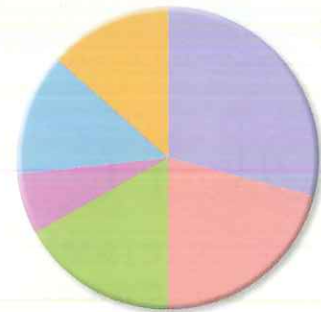
平成23年度 患者さま満足度調査報告

イムス三芳総合病院ではこれまで、患者さまの満足度向上に努めてまいりました。その活動の一環として、接遇向上委員会ではさらなる患者さま満足度向上のために平成21年度より患者さま満足度調査を実施しております。今年度は平成

23年9月1日から9月30日の期間にアンケート調査を実施し、外来274名、入院126名、計400名の多くの患者さま・ご家族さまにご協力をいただきました。そこで9月に実施いたしましたアンケート調査の結果の一部を抜粋し、以下に報告します。

外来患者さまアンケート

Q. 本日は診察までどれくらいお待ちになりましたか?



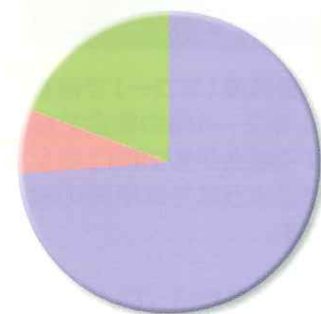
患者さまのご意見

- 待ち時間に雑誌を読みたい。
- 呼び出し表示の正確性。
- 待ち時間が長すぎる。ストレスを感じる。
- 今日待ち時間が少なかったが、たくさん待つ日もあるので改善できればしてほしい。

平均待ち時間70.5分で、昨年比マイナス7分となっています。待ち時間の過ごし方、適切な声かけの見直しなどにより、患者さまの「待たされている感」をできるだけなくすような対応を心がけていきたいと思えます。

- 30分以内 (29%)
- 31分~1時間 (21%)
- 1時間~1時間30分 (17%)
- 1時間30分~2時間 (6%)
- 2時間以上 (13%)
- 無記入 (14%)

Q. ご病気の際、当院を受診したいと思いますか?



患者さまのご意見

- 県外から受診してきました、これからお世話になりたいと思えます。
- 車で来るのですが、車いすを使います。駐車場(車いす用)を入口付近にしてほしいです。特に雨の場合は困ります。

昨年よりも「受診したい」と思われた患者さまが前年比14%プラスとなり、とても多くの患者さまに当院を支持していただいていることを実感しました。今後も患者さま対応を見直し、地理的、設備的な理由だけでなく、「選ばれる医療機関」を目指し、努力していきたいと思えます。

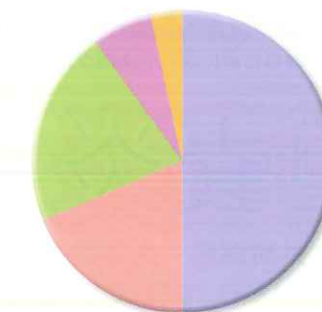
- したい (74%)
- したくない (7%)
- 無記入 (19%)

※その他、患者さまから「トイレ」や「浴室」といった設備面や、「清掃」等の環境面についてのご意見をいただきました。患者さまからいただいた貴重なご意見をもとに、設備面や環境面においても快適な環境で治療に専念していただくことができるよう改善に努めていきたいと思えます。

外来・入院ともに当院全体の印象等、昨年度より患者さまに高く評価をしていただけた項目もありました。しかし、全体ではまだまだ職員の接遇向上を図る必要があるということが分かりました。アンケート結果につきましては、各部署へ報告し、それぞれが改善策について話し合いをしていきたいと思えます。2月以降にはアンケート結果をリハビリテーション室前に掲示する予定となっておりますので、ぜひそちらもご覧ください。今回のアンケート結果を真摯に受け止め、今後も当院の基本理念でもある「愛し愛される病院」であるように、職員一同努力してまいりますので、よろしく願い申し上げます。ご協力ありがとうございました。

入院患者さまアンケート

Q. 医師の対応についてどのように感じられますか?



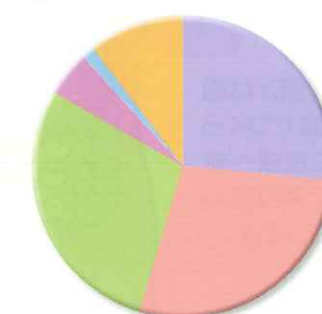
患者さまのご意見

- ずっと痛みがあり、辛い思いをしていたので、先生の対応が早く本当に助かりました。
- 入院、手術をしてみましたが、先生はじめ、各スタッフが熱心で誠意があり、満足しております。
- 主治医の先生になかなか会えないため病状説明がきけない。

昨年度に比べ、3%多くの方に「満足」と感じていただけたようです。しかし、その反面で病状説明が十分ではないというご意見もいただきました。この結果を真摯に受け止め、患者さまにとって安心した医療を提供することができるよう一層努力していきたいと思えます。

- 満足 (50%)
- やや満足 (19%)
- 普通 (21%)
- やや不満 (7%)
- 不満 (0%)
- 無記入 (3%)

Q. 当院全体の印象についてどのように感じられましたか?



患者さまのご意見

- 優しい対応はありがたかったです。
- 各人の対応がまちまち。統一性がない。
- お見舞い客用の椅子をもっと増やしてほしい。

当院全体の印象について「満足」「やや満足」と感じられた方は昨年度より10%多くなっています。しかし、「普通」と感じられた方が29%と全体の約1/3を占める結果となりました。職員ひとりひとりが病院の顔であるということを実感し、より多くの患者さまに「満足」と感じていただくことができるよう取り組んでいきたいと思えます。

- 満足 (27%)
- やや満足 (28%)
- 普通 (29%)
- やや不満 (5%)
- 不満 (1%)
- 無記入 (11%)

Candle Service キャンドルサービス'11



平成23年12月9日(金)、院内にてキャンドルサービスが行われました。今年も看護部が主となり全職員一丸となって開催することができました。病院で過ごされるクリスマス。少しでも暖かな時間を感じていただければ...という思いで毎年心をこめて行っています。



小さな「こころ」のお話

昭和33年、板橋中央総合病院が
医院から病院になったばかりのころ、
10名ほどの看護師が、
『ご入院中の患者様に少しでも
クリスマスを楽しんでいただきたい』
という思いでお金を出し合い、
プレゼントを購入し、
キャンドルを燈して病室へお届けしたことから
キャンドルサービスは誕生しました。
数名の「こころ」から始まった
思いやりの行事は今も毎年職員の手によって
受け継がれています。



放射線のおはなし

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、原子力発電所で事故が起こり放射性物質が大気中や海中に放出されました。震災後、報道や雑誌など様々な場所で放射線についての情報が数多く発表されていますが、専門的になりすぎてわからなくなったり、誤って認識されていることも多いようです。多くの方から疑問が寄せられましたが、その中から今回は簡単にご説明します。

放射線に関する単位

Bq (ベクレル)
放射性物質が放射線を出す能力(放射能の強さ)を表す単位
土壌や食品の検査データでよく用いられます。

1Bqとは、1秒間に一つの原子核が壊変(崩壊)することを表しています。
※ 壊変(崩壊)とは原子核が放射線を出して別の原子核になる現象のことをいいます。



『放射線』とは「放射性物質」から放出されるエネルギーのことです。

『放射性物質』とは「放射線」を出す物質のことです。

『放射能』とは「放射線」を出す能力のことです。



「放射能が出ている～」という表現をよく耳にしますが、これは大きな間違いです。放射能とは放射線を出す能力のことなので、正しくは『放射線が出ている～』という表現になります。

Sv (シーベルト)
人体が受けた放射線による影響の度合いを表す単位
放射線を安全に管理するための指標として用いられています。

※ GyやSvにm(ミリ)をつけると1000分の1になり「mGy(ミリグレイ)」「mSv(ミリシーベルト)」となります。
現在、メディア等では放射線に関する単位を「Sv」に統一しているようです。

Gy (グレイ)
放射線のエネルギーが物質や人体の組織に吸収された量を表す単位
放射線が物質や人体に当たると、もっているエネルギーを物質に与えます。

与えたエネルギーをGyという単位で表しています。